1　次の文章を読み、あとの問いに答えなさい。

日本は、古くから大陸や朝鮮半島から、さまざまな制度や文化を取り入れてきました。弥生時代には稲作や金属器が伝わり、古墳時代には漢字や仏教が伝わりました。

６世紀末に、隋が中国を統一すると、倭国（当時の日本の呼び名）は、隋に使者を派遣しましたが、政治のしくみが遅れていることを指摘されました。そこで、厩戸王（聖徳太子）らは家がらにとらわれずに能力のあるものを役人に取り立てるしくみの（　あ　）や、「人の和を大切にしなさい」ではじまる十七条の憲法などの制度を整えて、改めて（　い　）を遣隋使として派遣しました。

①８世紀の初めには、中国にならった律令とよばれる法律がつくられ、新しい政治のしくみが定まりました。人々には田が与えられ、租や調・庸などの税を納めるしくみが整えられました。調や庸は都へ運ばれました。その際に、②調や庸に荷札としてつけられた**写真**のような木簡という木札が、平城京などから多数出土しています。木簡には、調や庸を納めた人の住んでいた地名や税の種類と量などが書かれていました。

奈良時代にも数回、遣唐使が派遣されました。遣唐使が持ち帰った数々の品物は、後に③東大寺の正倉院に収められました。また、奈良時代には、外国人も日本にやってきています。記録には、中国人だけでなく、インド人やペルシャ（今のイラン）人が日本に来ていたことが記されています。なかでも、④戒律という正式な僧になるための作法を伝えた中国の僧の話は有名です。彼は、何度も航海に失敗するうちに、目が見えなくなってしまいました。しかし、最後には日本にたどり着いて、日本の仏教の発展に大きな役割を果たしました。

平安時代になると、遣唐使の派遣は少なくなりました。そうして、９世紀の終わりには、（　う　）の意見によって遣唐使の派遣は中止されます。しかしその後も、中国や朝鮮半島からは多くの商人が日本を訪れました。平安時代の中ごろには、大陸の文化に学びながら、⑤日本の風土や生活にあった日本ふうの文化も発展してきました。⑥かな文字で書かれた「枕草子」や「源氏物語」は日本を代表する文学作品として、世界でも高い評価を得ています。ただし、この時代には、朝廷の記録や貴族の日記などは、すべて漢字で書かれていて、かな文字で書かれたものの地位はそれほど高くはなかったことに注意しなければなりません。

【写真】

出典：ColBase（https://colbase.nich.go.jp/）

(1)　文中の（　あ　）～（　う　）にあてはまる言葉を答えなさい。

(2)　下線部①について、701 年に大宝律令ができた時の都を、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　難波京　　イ　藤原京　　ウ　平城京　　エ　平安京

(3)　下線部②について、荷札として紙ではなく、木簡（木札）が用いられた理由を説明しなさい。

(4)　下線部③について、東大寺を建てることを命じた天皇を、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　天智天皇　　イ　聖武天皇　　ウ　桓武天皇　　エ　後醍醐天皇

(5)　下線部④について、この僧の名前と彼に与えられた寺の組み合わせとして正しいものを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　行基－唐招提寺　　イ　行基－薬師寺
ウ　鑑真－唐招提寺　　エ　鑑真－薬師寺

(6)　下線部⑤について、平安時代の貴族の屋しきである寝殿造の説明として正しくないものを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　いくつかの建物が渡り廊下でつながれていた。
イ　部屋に畳が敷きつめられることはなかった。
ウ　部屋はつい立てやすだれで分けられていた。
エ　屋根には瓦が置かれていた。

(7)　下線部⑥について、「枕草子」や「源氏物語」の作者である清少納言と紫式部が、かな文字を使って作品を書いたのはなぜですか。その理由を説明しなさい。

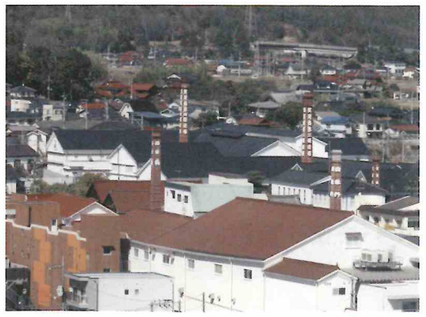
2　次の文章を読み、あとの問いに答えなさい。

広島県東広島市は、昭和 49（1974）年４月に西条・八本松・志和・高屋の４町の合併により誕生しました。さらに平成 17（2005）年に周辺の町を合併し、中国山地の山々が広がる内陸部から美しい風景が広がる瀬戸内海まで市域が広がりました。

この東広島市に西条という地域があります。西条は西国街道（旧山陽道）最大の宿場町四日市宿として栄えた町で、赤瓦と呼ばれる赤褐色の屋根瓦が連なる町として現在でも当時の面影を残しています。また、江戸時代から酒造りが行われていましたが、全国に知られるような酒の産地ではありませんでした。西条が酒造りの町として知られるようになったのは鉄道が開通した明治時代中ごろからです。このころから①地場産業[注]として発展し西条は国内有数の生産地となりました。現在でも多くの醸造所があり、赤レンガの煙突も町のシンボル的な役割を果たし、日本の 20 世紀遺産 20 選に「西条の酒蔵施設群」として選ばれ、酒蔵巡りを楽しむ観光客が増えてきました。ただし、現在の煙突は煙突としての役割は果たさず、観光客のために保存されているようです。このような伝統的なこととは対照的に広島大学や近畿大学などの誘致や先端産業にも力を入れ「広島中央サイエンスパーク」を設置し学術・研究機関が集まっていることも大きな特徴となっています。

【写真１】西条の酒蔵施設群

町を歩いてみましょう。西条駅南口を出て、交番の手前の道を東へ向かって進むといくつもの酒蔵の煙突が見えてきました。このあたり一帯は酒蔵が集まっている地域で、もう一つ南側の道は②西国街道（旧山陽道）で、西条酒蔵通りとも呼ばれています。この通りは街並み保存に取り組んでおり、酒蔵だけではなく宿場町の様子をうかがうことができました。同じ西国街道でも駅の西側では商店街が広がっており異なった雰囲気です。さて、駅前通りに戻り歩き進むと右手に（　あ　）、左手に市役所が見えてきました。その先にある西条中央病院の角を左に曲がると（　い　）の建物が見えました。しばらくして進行方向を北へ変え、進んでいくと電波塔や裁判所を通り過ぎ、酒蔵が集まる地域へ戻ってきました。小さな町かと思っていましたが、様々な公共施設や行政機関が集まり、東広島市の中心的役割を担っていると感じました。



【写真２】赤瓦の屋根と煙突

（注）地場産業とは、地域の中小企業が特定の産物をつくり、それが地域を越え、全国的、さらには国際的に認められた産業のこと。

【図１】東広島市西条（地理院地図より作成）

(1)　文中の（　あ　）、（　い　）にあてはまる言葉を、図１を参考にして答えなさい。

(2)　写真２は市役所の 10 階から撮影したものです。市役所からどの方向に向かって撮影したものですか。８方位で答えなさい。

(3)　図１の安芸国分寺から三ツ城古墳までの距離が 25000 分の１の地形図上で９㎝とすると、実際の距離は何ｍですか。

(4)　伝統的な街並みを保存していく方法や工夫として正しいものを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　昔からの風景や建物を残すため、生活も昔ながらの方法で暮らす。
イ　昔はなかった電柱や電線は地中に埋めるなど目立たないようにする。
ウ　観光客を増やすため、建物は保存するが道路は広げる。
エ　建物の保存のため、住民は引っ越して伝統的な建物には誰も住まない。

(5)　下線部①について、国内には東広島市の酒造りと同じように地場産業がありますが、伝統的な地場産業を守っていくためには様々な問題も発生しています。それはどのような問題ですか。

(6)　下線部②について、西国街道（旧山陽道）を図１のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

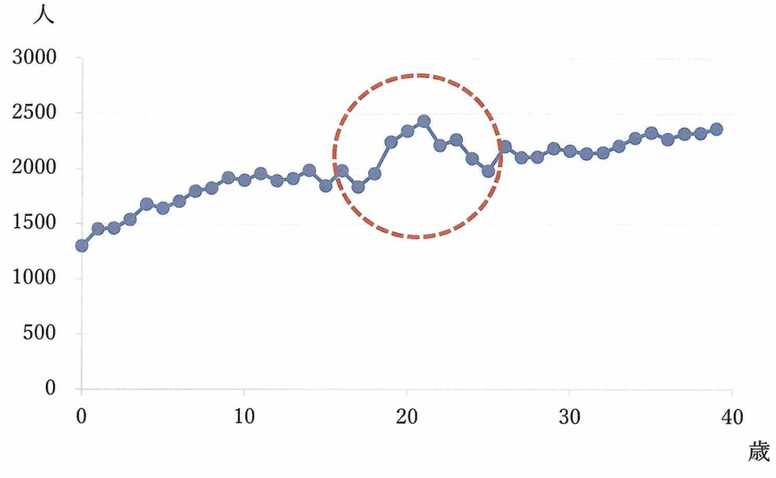
(7)　下の写真ア～ウは図１のＡ～Ｃのいずれかの場所で撮影したものです。Ａで撮影した写真をア～ウの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア

イ

ウ

(8)　下の東広島市の年齢別人口（0歳～39歳）のグラフを見ると20歳前後の若い年齢層の人が多くなっています。その理由を、３ページの文章を参考にして答えなさい。



東広島市の年齢別　（0歳～39歳）人口　（2024年）
（東広島市ホームページ年齢別人口（2024年4月）より作成）

3　次の文章を読み、あとの問いに答えなさい。

最近、外国人観光客を見かけることが増えてきました。調べてみると10年前の2015年に訪日外国人は約1974万人、6年前の2019年には約3188万人でしたが、その後は新型コロナウィルス感染症の影響(えいきょう)で減少しました。しかし、2024年は6月までの半年間で約1777万人が来日しており、①過去最高のペースになっています。

外国人に人気の観光スポットは、伏見稲荷(ふしみいなり)大社、ユニバーサルスタジオジャパン、奈良公園、清水寺、大阪城と関西に多く点在しますが、関東でも東京ディズニーランドや東京スカイツリー、浅草などが人気です。そして、この数年、山梨県の②富士河口湖町を訪れる外国人観光客が急増しています。河口湖は標高約830mのため、以前から避暑(ひしょ)地としてにぎわっていましたが、近年は季節に関わらず人気です。

【写真1】河口湖駅

【写真2】設置されたフェンス

(1)　下線部①について、昨年はなぜ外国人観光客が増加したのですか。その理由を考えて二つ答えなさい。

(2)　下線部②について、河口湖駅付近の通りに**写真2**のフェンスが設置されましたが、それはなぜですか。理由を説明しなさい。

[問題はここまでです。]